

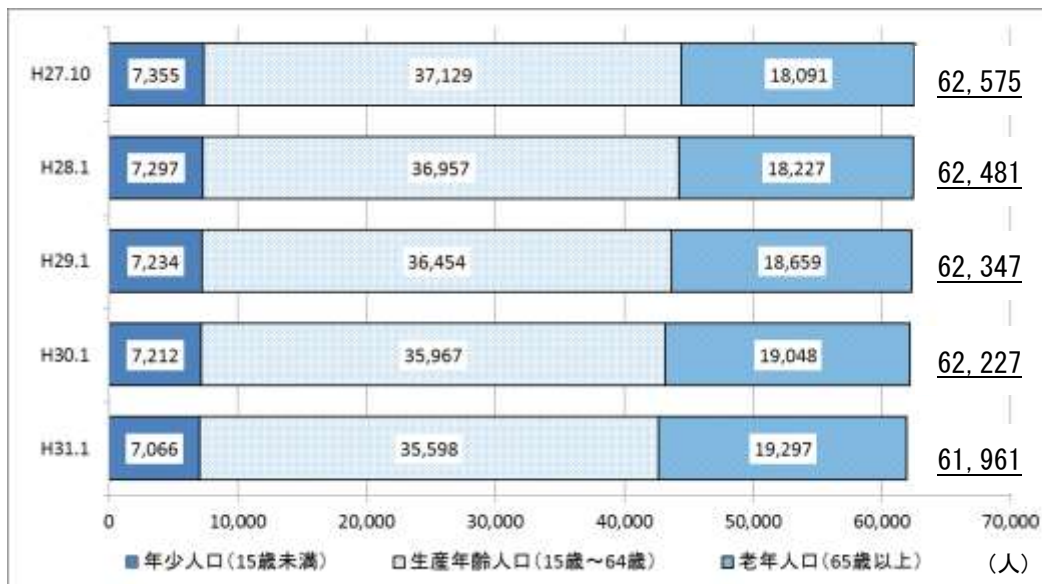
蓮田市の人口動向

○総人口について（図表-1、図表-2 参照）

「人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲載した平成 27 年 10 月 1 日現在の住民基本台帳人口の総人口は 62,575 人（図表-1）です。平成 31 年 1 月の総人口は、61,961 人となり、614 人減少しています。その内訳を年齢 3 区分別にそれぞれ見てみますと、年少人口は 289 人、生産年齢人口は 1,531 人減少し、老年人口は 1,206 人増加しています。総人口は減少しているものの、老年人口は増加しており、この結果、平成 27 年 10 月の高齢化率（28.9%）と平成 31 年 1 月 1 日の高齢化率（31.1%）を比較すると 2.2 ポイント増加しています。（図表-2）

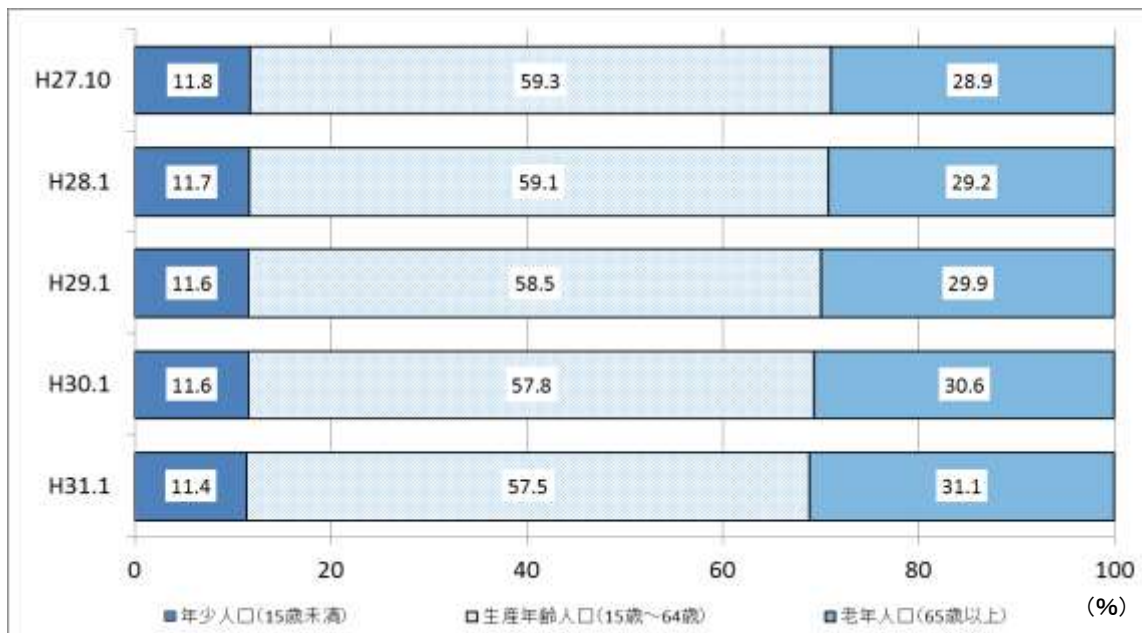
また、蓮田市人口ビジョンの中で、平成 32 年の推計人口を 61,797 人とし、このうち年少人口を 7,330 人、生産年齢人口を 35,028 人、老年人口を 19,439 人と推計していました。しかし、年少人口は平成 28 年 1 月からすでにこの推計値を下回る形で推移し、平成 31 年 1 月現在で 7,066 人となっており、少子化問題は本市において特に深刻な課題であると捉えています。

図表-1 年齢 3 区分別人口及び総人口の推移



資料：住民基本台帳（市民課）

図表-2 年齢 3 区分別人口の構成割合の推移



資料：住民基本台帳（市民課）

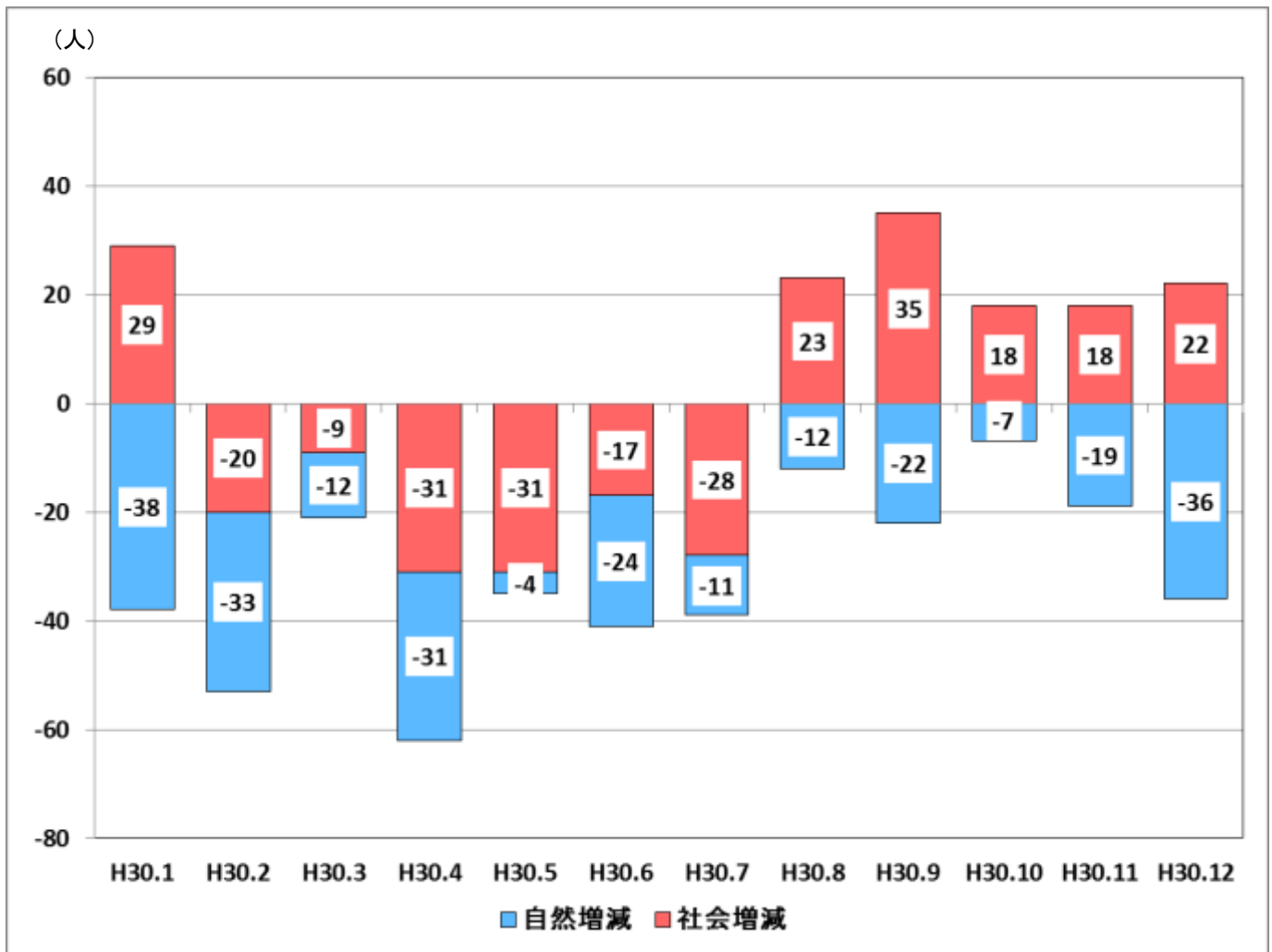
○自然増減、社会増減の推移について（図表-3、図表-4 参照）

自然増減については、出生数を死亡数が常に上回り、各月ともにマイナスの数値となっており、年間でマイナス 249 人となっています。（図表-3）

社会増減については、2 月から 7 月までは転出超過となっていました。8 月から転入超過に転じ、現時点での累計値はプラス 9 人となっています。（図表-3）

社会動態の推移については、平成 27 年までは転出超過の傾向にありましたが、社会増減は平成 28 年からプラスに転じ、平成 28 年 1 月から 12 月までの累計値はプラス 31 人、平成 29 年の累計値はプラス 67 人、平成 30 年の累計値はプラス 9 人となり、3 年連続で転入超過の状態となっています。（図表-4）

図表-3 月別人口増減の推移（平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日）



【H30.1～H30.12 の人口増減数】

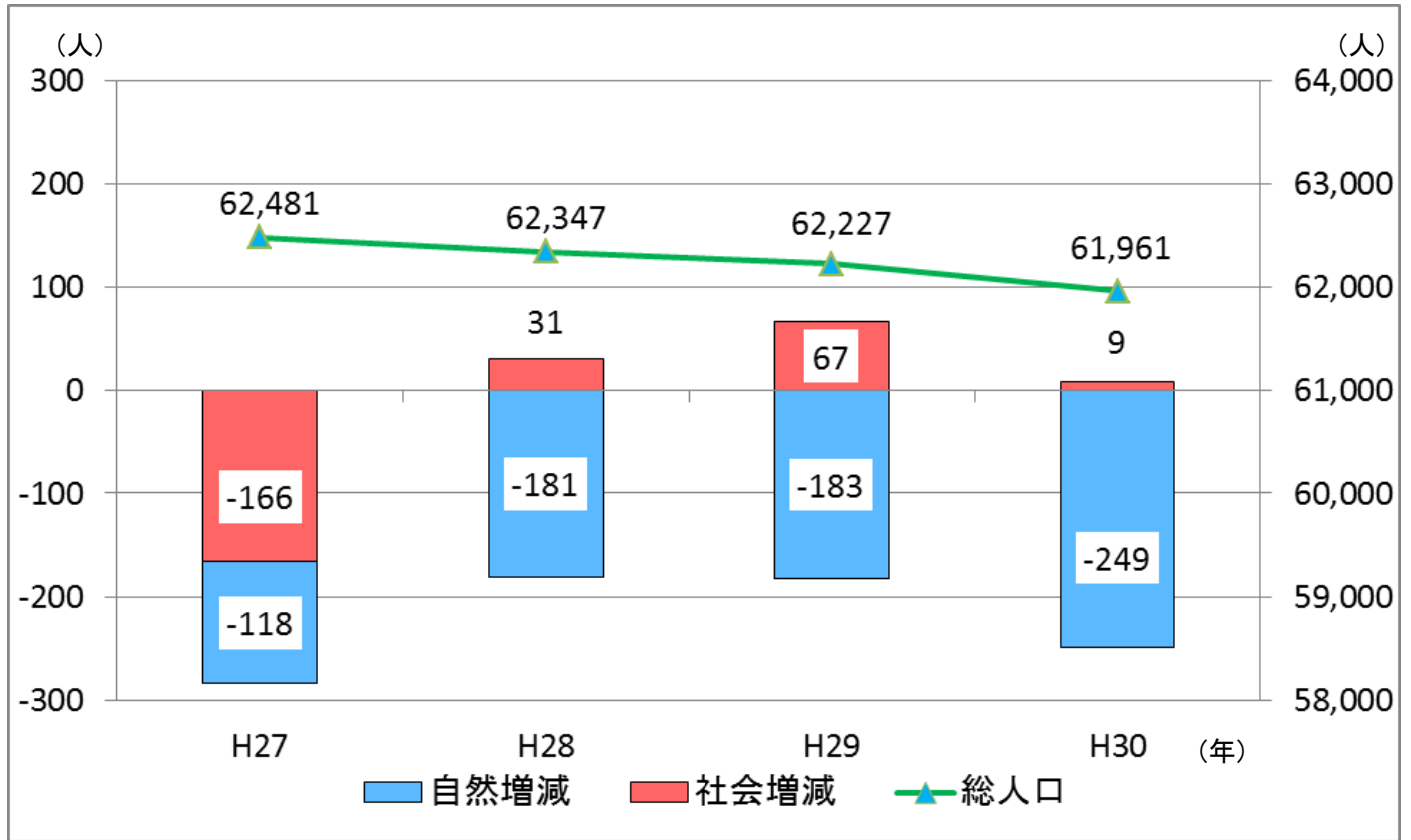
自然増減数…-249 人

社会増減数…+9 人

差 引…-240 人

資料：住民基本台帳（市民課）

図表-4 年別人口増減の推移（平成 27 年～平成 30 年）



資料：住民基本台帳（市民課）

○転入・転出人口について（図表-5、図表-6、図表-7 参照）

男女とも 20 歳代から 30 歳代の方の転入・転出が多いことがわかります。また、10～19 歳の転入・転出者数に比べて、0～9 歳までの転入・転出者数のほうが多く、中でも、0 歳から 6 歳までの転入・転出が多い状況でした。このことから、小学校への就学が大きなターニングポイントであると考えられます。（図表-5、図表-6）

蓮田市への転入状況をみると、伊奈町からが一番多く 113 人、次いで白岡市からが 96 人です。転出については白岡市が一番多く 164 人、次いで伊奈町が 124 人となっており、白岡市や伊奈町については転入以上に転出が多い状況です。蓮田市からの転出よりも蓮田市への転入が多い自治体は、上尾市やさいたま市北区、岩槻区等となっています。（図表-7）

図表-5 10 歳区分別の転入・転出人口（表）

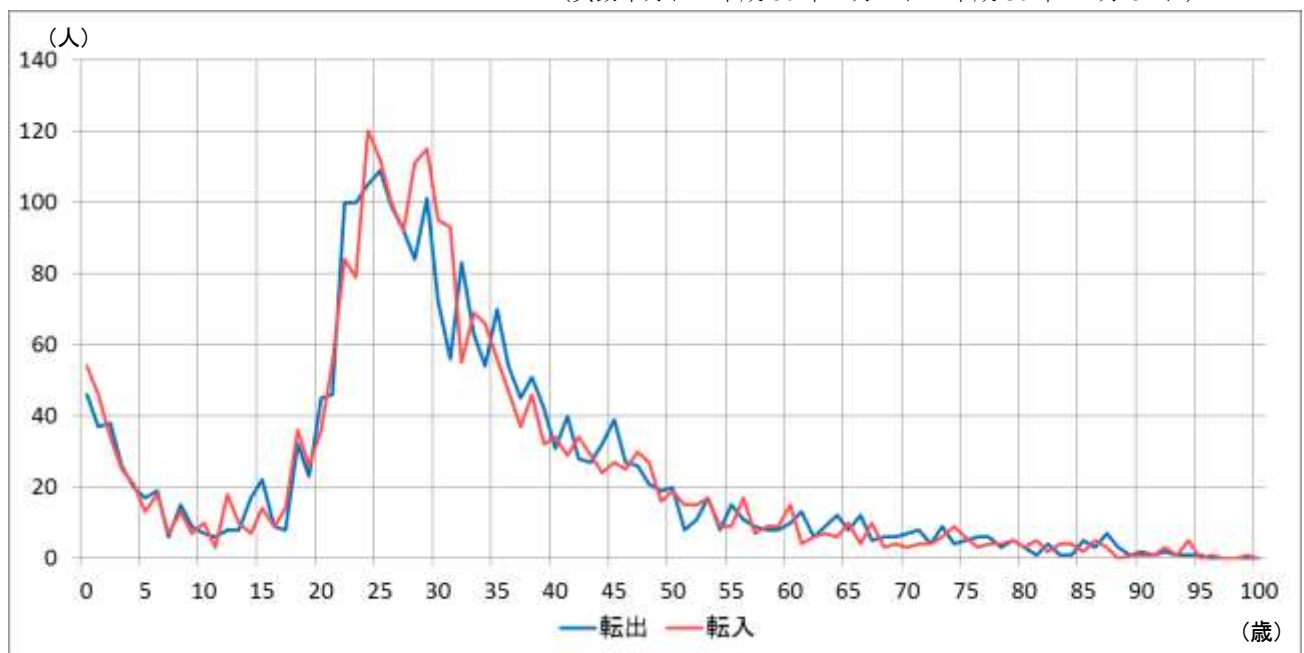
（異動年月日：平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 30 日）

年齢区分	転入者			転出者			差引 (A)-(B)
	男	女	計 (A)	男	女	計 (B)	
0～9歳	125人	113人	238人	115人	118人	233人	5人
10～19歳	76人	71人	147人	75人	65人	140人	7人
20～29歳	473人	431人	904人	451人	430人	881人	23人
30～39歳	321人	275人	596人	298人	292人	590人	6人
40～49歳	161人	114人	275人	169人	121人	290人	-15人
50～59歳	74人	52人	126人	66人	49人	115人	11人
60～69歳	39人	30人	69人	43人	44人	87人	-18人
70～79歳	22人	26人	48人	34人	23人	57人	-9人
80～89歳	10人	19人	29人	11人	18人	29人	0人
90～99歳	2人	11人	13人	4人	4人	8人	5人
100歳以上	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	1,303人	1,142人	2,445人	1,266人	1,164人	2,430人	15人

資料：住民基本台帳（市民課）

図表-6 年齢別の転入・転出人口（グラフ）

（異動年月日：平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日）



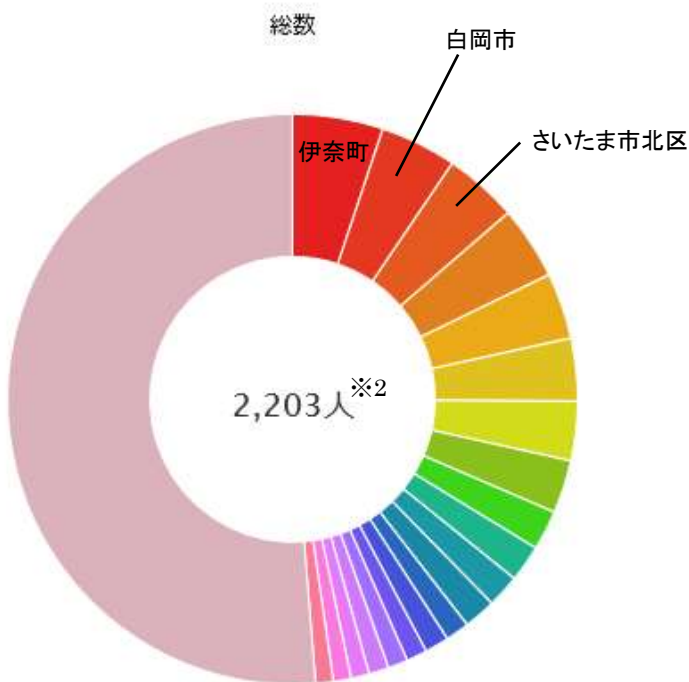
資料：住民基本台帳（市民課）

※図表-5、図表-6 は転出予定の人数も含まれるため、図表-3 の数値と一致しません。

図表-7 RESAS※1による平成29年転入・転出者の内訳

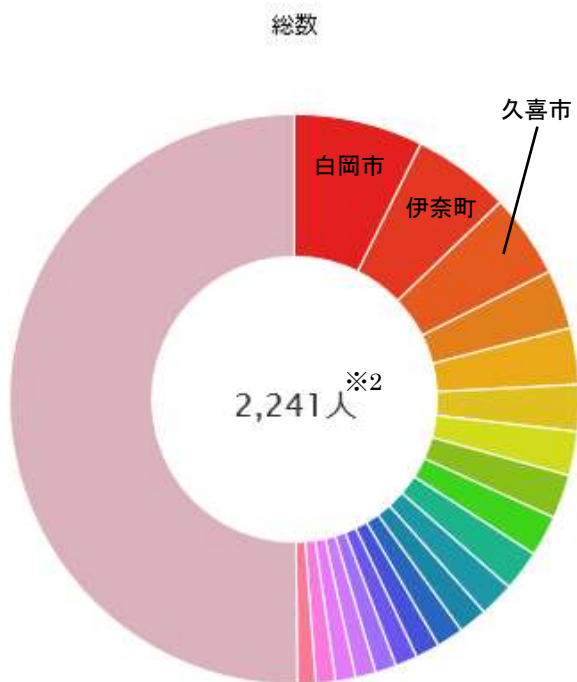
埼玉県蓮田市 From-to分析 (定住人口) 2017年

転入数内訳



- 1位 埼玉県伊奈町 113人 (5.13%)
- 2位 埼玉県白岡市 96人 (4.36%)
- 3位 埼玉県さいたま市北区 92人 (4.18%)
- 4位 埼玉県上尾市 91人 (4.13%)
- 5位 埼玉県久喜市 83人 (3.77%)
- 6位 埼玉県さいたま市見沼区 78人 (3.54%)
- 7位 埼玉県さいたま市岩槻区 74人 (3.36%)
- 8位 埼玉県川口市 66人 (3.00%)
- 9位 埼玉県さいたま市南区 50人 (2.27%)
- 10位 埼玉県さいたま市浦和区 46人 (2.09%)

転出数内訳



- 1位 埼玉県白岡市 164人 (7.32%)
- 2位 埼玉県伊奈町 124人 (5.53%)
- 3位 埼玉県久喜市 107人 (4.77%)
- 4位 埼玉県上尾市 75人 (3.35%)
- 5位 埼玉県さいたま市見沼区 72人 (3.21%)
- 6位 埼玉県川口市 59人 (2.63%)
- 7位 埼玉県さいたま市大宮区 56人 (2.50%)
- 7位 埼玉県さいたま市北区 56人 (2.50%)
- 9位 埼玉県加須市 52人 (2.32%)
- 9位 埼玉県さいたま市岩槻区 52人 (2.32%)

資料：地域経済分析システム (RESAS：リーサス)

※1 RESAS とは、内閣官房 (まち・ひと・しごと創生本部) 及び経済産業省が地域経済に関する様々なビッグデータ (産業の強み、人の流れ、人口動態等) を、地図やグラフで分かりやすく「見える化 (可視化)」し、提供しているシステムです。

※2 RESAS では国外からの転入・国外への転出は含まれていませんが、職権記載及び職権消除が含まれるため、市民課で集計している住民基本台帳資料と取扱いが異なります。